

実りの秋とは

よく「実りの秋」という言葉を耳にします。この「実りの秋」にはどんな意味があるのか調べてみました。

「実りの秋」を国語辞典などで調べると、「穀物や果実などの収穫が多くなる季節を表す言葉」と書かれています。そういう意味もあって「実り」ではなく、穀物を表す禾（のぎへん）がついた漢字である「稔」を使って「稔りの秋」と表記されることもあるようです。



右上の写真は、1学期に小路さんを中心とした地域の方や保護者の中井さんのご協力によって、小学校1年生から6年生が植えたり育てたりしている稲やさつまいもです。

収穫まであと少しです。いっぱい支えて頂いているおかげで、貴重な体験ができてことに感謝です。収穫できた時の喜びをお伝えしたいです。

秋は冬が来る前の季節です。気候も穏やかなうえ、春から夏にかけて育ってきたさまざまな作物や穀物が収穫されることで、四季の中でも満ち足りて豊かな季節であると考えられます。これからやってくる寒く厳しい冬を乗り越えるためにも、「実りの秋」は大切な季節ということになります。

秋を表す言葉はこれだけではなく、「スポーツの秋」「食欲の秋」「芸術の秋」「読書の秋」などたくさんあります。そして、これらの言葉にはそれぞれの由来があります。

例えば、「スポーツの秋」には、1964年に開催された東京オリンピックによって、人々のスポーツ熱に火が付いたことや、気候が穏やかで晴れる日も多い秋は、運動するのに適した季節でもあったことから、秋はスポーツの季節と認識されるようになったようです。

夜が長く過ごしやすいこの時期は、食物が一気に収穫できる「実り」の季節であるとともに、知識をはぐくむ、人としての「実り」の季節であるのかもしれないね。

医王山小中学校の子どもたちには、今年の秋は今までチャレンジできなかったことに挑戦してほしいと願っています。



9月の活動より



中 - 秋季新人大会 9/19(月) 金沢市総合体育館

2年生2名、1年生4名が新チームとなって初めての公式戦に挑みました。6月の加賀地区大会予選から結成された少ない人数の新チームですが、例年以上に暑い体育館の中でしっかりと練習を積み重ねてくれました。小学校の保護者で、コーチをお願いしている新田さんの指導もあり、すごく上達したと思います。結果は悔しさが残る形となりましたが、「最後の夏」に向けた勝負は始まったばかりです。選手のみなさん、これからも頑張れ！



中-生徒総会 9/21(水)

中学校で生徒総会が開かれました。内容は、9月までの取り組みと文化祭についてでした。意見発表では、生徒会の七夕の取り組みが楽しかった、昼の放送での選曲が良かったなど、意見がいっぱい出て本当に良かったです。後期には文化祭という大きな行事があります。力を合わせて成功させたいですね。頑張ってください！



小5-工場見学 9/21(水)

小学5年生が、松本機械工業株式会社に見学に行きました。工場の中にある様々な機械を直接見ることやそこで働く人たちのお話を聞くことのできる貴重な体験となりました。見学では、24時間機械が動き続けることや1000分の1の狂いもないように製作する工場のすごさに驚きの声があがったそうです。深い学びにつながって本当に良かったです。



小4-金箔体験 9/20(水)

小学校4年生が、金箔体験に行ってきました。みんなの真剣な顔がとても素敵でした！こういう伝統工芸を学ぶことも、実際に体験することもとても大切なことですね。上手にできたら嬉しいし、その難しさを感じることも大切な学びです。指導してくださったお店の方に感謝ですね。



小3-ス-パ-マ-ケツト見学 9/15(木)

小学校3年生の社会科で、スーパーマーケットの見学に行ってきました。スーパーマーケットの工夫を見つけることが今回の目的でした。「大きな看板はここにスーパーマーケットがあるとわかる」や「障害を持っている人たち用の駐車場は店の近くにある」という工夫が見つけられるなど、良き学びになりました。

